

令和4年度 筑後市立西牟田小学校 後期学校評価シート

大項目	中項目	重点となる取組	学校評価	改善策	関係者評価	意見
A 学び力育成	A-I 学力向上	○自分の考えを表現する場の設定 ○「自分でめあてをもつ」「学びをふりかえる」時間の確保 ○基礎基本の反復練習	B	○図や数直線等の指導を丁寧に行い、それらを活用できるようにする。 ○朝活等では、扱う内容について時期や単元等に応じて重点的に指導する内容を決定する。	厳しい 2 適切 7 甘い	○学び方に重点を置く学習方法は学力向上につながっていくと思う。特に、低学年では、具体物(図・関係図・数直線)を使って、自分の考え方を操作し、表現することを繰り返すことが大事ではないかと考える。 ○目先の(一時的な)学力向上ではなく、まずは、意欲を高めるために学校全体で授業改善に取り組まれていることがわかりました。また、全国学力・学習状況調査だけでなく、市販テストの結果等もしっかり分析された上で、弱点克服の具体的な取組が行われていることも評価できます。
	A-II 基盤学力	○主体的に学習へ向かう姿をめざすための学習の準備の徹底 ○話し方・聞き方の徹底	B	○立腰の指導、号令の共通実践の継続・徹底。 ○話し方、聞き方モデルの見直しと活用の具体化。	厳しい 適切 9 甘い	○学習規律が具体的にモデルやルール・決まりを提示されて努力されているので、学習する心構えが育っていていると思います。 ○立腰指導は今後も継続してほしい。筑後北中校区3小学校の統一した指導のおかげで、中学校生活も支障なく送れています。教育計画に読書の推進を組み込むことは、今後の基礎学力向上につながることを期待できるので、ぜひお願いしたいです。
B つながり力育成	B-I 仲間づくり	○異学年が交流する取組 ○「さんづけ」の取組 ○リーダーの育成 ○振り返りをういた次の目標設定	B	○縦割り掃除での挨拶と返事の指導と、掃除でのよいところ見つけ ○学期に1回、月目標に「さんづけを位置づける」 ○重点行事において、気持ちの伝え方の指導を実施	厳しい 適切 9 甘い	○「さんづけ」は、校外ではあまり意識されていないようです。ふわふわ言葉が増えることを願っています。 ○異学年が交流する取組が、リーダー育成に大きく関わっていると思います。その取組のおかげで、西牟田小の卒業生も中学校でリーダーとして活躍する生徒が多くいます。児童も教師も、「さんづけ」の意識の高さが評価できます。中学校でも周知し、連携し合う必要性を感じました。 ○登校時に上級生が登校班をまとめながら行動していることから、縦割り班活動でリーダーシップを身につけ発揮できているからだと思います。
	B-II 体力づくり	○外遊びの奨励 ○柔軟性アップを図る準備運動 ○めあてをもたせる工夫 ○みんなが楽しめる場の工夫やルールづくり	B	○外遊びの奨励 ○ラダーの活用 ○柔軟性を高める準備運動の実践	厳しい 1 適切 8 甘い	○外遊び、準備運動等、よく努力されています。また、スポコン広場ではすごい成果が出ています。この成果を生かして、さらなる体力向上の工夫をお願いします。 ○外遊び時に、教師と児童とのコミュニケーションがとても上手に取れていることが、体力づくりだけでなく、仲間づくりにも貢献していると思います。スポコン広場「長縄連続とび」南筑後1位は、非常に評価できます。素晴らしいです。学校評価は「A」でいいのでは。児童と教師との絆の強さが感じられます。
C 生活力育成	C-I 生活づくり	○登校班毎の挨拶練習 ○児童による朝の挨拶運動 ○環境委員会によるスリッパや棚の点検 ○月目標の達成に向けたシールの活用	A	○相手意識を大切にしたい取組の実践 ・子ども主体による挨拶運動の継続 ・トイレのスリッパの並べの指導	厳しい 適切 9 甘い	○挨拶、右側通行、スリッパ並べ、棚の整理等の取組を具体的な目標や成果で見える化されてよく取り組まれています。 ○集団登校時の教師引率や巡回等の配慮には、頭が下がります。あいさつ運動の様々な取り組みも評価できます。スリッパ並べのために、手だてやきちんとできている場面での称賛等はとてもよいと思いました。今後とも、常に注視し、乱れたときにすぐ対応し、キレイな状態を継続するのが大事だと思います。 ○進んで挨拶する児童が増えたことを実感します。
	C-II 健康づくり	○保健委員会の手洗い呼びかけと養護教諭による巡回指導。 ○帽子着用の呼びかけ ○夏季のWBGTの測定	B	○手洗いの大切さと洗い方を繰り返し指導 ○帽子着用の大切さを繰り返し指導	厳しい 1 適切 8 甘い	○自分の体は自分で守る意識をもつこと。手洗いもとても大切です。習慣化するまでねばり強く指導してほしいです。 ○コロナ禍でなくても、もともと手洗いの指導は必要です。清潔に保つことは、生きていく上で(感染予防も含めて)大切なことだと思います。マスク着用についても、一挙になくすのではなく、教師と児童が必要な場所や時間等を一緒に考えることも大事なことだと思います。
D 信頼される学校づくり	D-I 保護者・地域との連携	○学校便り等、各種通信の定期発行。 ○PTA総会・家庭懇談会等での教育方針等の周知徹底。 ○家庭学習強調週間の実施(年間5回)	B	○タブレットを用いた学級懇談会等、柔軟に対応。 ○PTA役員会と連携し「早寝・早起き」を推奨	厳しい 1 適切 8 甘い	○本来、家庭で問題解決してほしい『早寝・早起き』や『ゲーム等の制限』に関する健康づくりは、PTAとも連携して今後も取り組んでほしいです。そうすることで、児童が少しでも健康になることを望みます。小中連携の取組の1つ、宿題強調週間の取組は、児童生徒の学習への意欲向上のために有効となるよう中学校でも周知します。 ○保健委員会の活動が活発に行われている成果が見て取れます。手洗いが積極的ではない子には、誰かが声を掛け背中を押すことが大切です。委員会の活動に感謝です。
	D-II 組織運営の工夫	○年間を5回の3部会での評価・改善 ○3部会の取組と毎月の生活目標との連動 ○2ヶ月ごとの児童アンケート実施	B	○学校の重点目標の変更に伴い、育成部の目標や取組を見直す ○週連絡会で部長からの話を設定する。	厳しい 1 適切 8 甘い	○リーダーを中心とした育成部会の定期的な開催は評価できます。また、週連絡会等で、常に現状把握とそれに対する評価・改善を行うことが、学校が1つのチームとしてまとまり、一枚岩で活動することにつながると思います。 ○学校、地域、保護者の連携を図るには情報の共有化が不可欠です。学校だよりをはじめ各種通信で学校の状況を把握できますので、学校が身近に感じます。
		○児童・保護者アンケートと教育相談の確実な実施 ○いじめ対策委員会の定期開催と全職員の共通理解		○いじめアンケートにいじめについて気軽に書ける雰囲気づくりをする	厳しい 1 適切 8 甘い	○児童・保護者アンケートや教育相談の確実な実施が児童・生徒と教師の良いコミュニケーションづくりに貢献していると思います。また、いじめに対する対応もしっかりされていることで、安心・安全な学校となっていると思います。今後とも継続してください。 ○いじめ問題は、他者から見れば些細な事でも、受ける側にとっては深刻なこともあります。学校では、あらゆる手段を講じておられるので、いじめゼロの継続をお願いします。